

Division of Women Engineers Support



研究・イノベーション学会

令和2年2月28日

2020年3月 JWSE ZOOM 会議の案内

「科学・技術における女性活躍のために」

JWSE分科会（女性エンジニア活生分科会）

2020年3月 JWSE 例会（2020年度第3回 JWSE 例会）を下記により開催いたします。科学技術人材と男女共同参画・ダイバーシティを主題とした『女性活生』が始めて学会で取り上げられ10年、いろいろ女性エンジニア活生分科会（JWSE）は『女性エンジニアがその能力を活かし生きと力を発揮できるよう、我が国においても 先進国として21世紀にふさわしい環境づくり』を推進しております。多数の皆様の参加と 多彩な視点と問題意識からの活発な意見交換と討議を期待します。会員以外のご参加も歓迎いたします。ZOOM参加申し込み3月12日（木）までに 氏名 所属：メールアドレス

japanwse@gmail.com にお願ひします。事前に参加希望者に招待状をお送りします。

記

日時 令和2年3月19日(木) 午後6:30 ~ 7:30頃

場所 ZOOM 会議 随時(参入・退出)参加可

話題提供者：原山 優子先生 東北大学名誉教授

講演演題：『エンジニア教育に思う』

要旨 2002年に、東北大学工学研究科に分野横断を軸とする新たなエンジニア教育を目指し技術社会システム専攻が設置された。当初から教員として関わってきたが、昨今のトレンドとして、日本においても、また欧米においてもエンジニア教育の現場では、専門分野の教育に留まる事なく、分野横断的なカリキュラムが提供され、教育の仕方においても Project Based-Learning (PBL) といった新たな教育手法が導入されている。また、エンジニアの Sustainable Development Goals (SDGs) への貢献も、教育テーマとして取り上げられるようになってきた。

本講演では、これらの動向を踏まえつつ、明日を担うエンジニアのあり方について、ダイバーシティの視点からエンジニア教育の再考を試みる。

原山 優子先生: プロフィール

1996年にジュネーブ大学にて教育学博士取得。1997年には同大学経済学博士取得。1998年からジュネーブ大学経済学部助教授、2001年から経済産業研究所研究員を経て、2002年より東北大学大学院工学研究科教授に就任、科学技術イノベーション政策、産学連携、大学改革などに関する教育・研究に従事。2006年~2008年に総合科学技術会議非常勤議員、2010年から経済協力開発機構(OECD)の科学技術産業局次長を務め、2013年~2018年総合科学技術・イノベーション会議常勤議員。東北大学名誉教授。 (当日ご不明の場合は 電話 090-1531-9813 (吉祥) へご連絡ください。)